

第2次佐野市総合計画前期基本計画（案）に対する意見募集の結果について

1 パブリック・コメントの概況

(1) 意見募集期間

平成29年12月28日（木）～平成30年1月26日（金） 30日間

(2) 意見提出者等

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	団体	計
	1	1		2			4

(3) 提出方法の内訳

郵送	ファックス	Eメール	その他	計
		3	1	4

2 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>【施策 スポーツツーリズムの推進】 ・スポーツツーリズム協会の活性化について</p> <p>現状では、「スポーツツーリズム協会」はクリケットの応援団になっていると思います。</p> <p>陸上、野球、サッカー等競技人口の多い種目の大会は観光立市・スポーツ立市に貢献していますので、これらの競技等にも力を入れることが協会の活性化に繋がります。</p>	<p>佐野市スポーツ立市推進基本計画において、クリケットを活用してスポーツツーリズムを推進することを表明しております。</p> <p>クリケットの競技人口は国内では少ないものの、世界的には大変多くの愛好者がいることから、他市町村で取組がされていないクリケットをいち早く取り入れ、差別化を図ることにより、他に優位性を持ったツーリズムの推進とインバウンド政策が展開できるものと考えております。</p>
2	<p>・施設使用料の減免について</p> <p>サッカーのユースカップ・さのまるカップは、全国からチームを招いて宿泊を伴う大会のため、観光立市への貢献度は大きいのですが、施設使用料の減免がされていない。</p>	<p>減免については、佐野市運動施設利用規則に基づき、サッカーユースカップやさのまるカップを含め、主催者の区分に応じた使用料の減免を行っております。</p> <p>なお、スポーツツーリズムを一層推進していく観点から、市外からの誘客数に応じた減免なども併せて検討していく必要があると考えております。</p>

3	<p>【施策 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備】</p> <p>・スポーツ施設の整備と運営について クリケットとラグビー、国内の競技人口が少ないスポーツ施設の整備に力を入れるのは結構だが、競技人口の多いメジャーなスポーツの施設やメンテナンスなどが疎かになっています。</p>	<p>施設については、安全に長く使用することができるよう、運動公園長寿命化計画などにより計画的な修繕を実施していきます。</p> <p>また、備品についても基準に適合するものを配置し、安全性と快適性、合理性を考慮しながら老朽化したものについて、整備・更新をしていきたいと考えております。</p>
4	<p>政策ごとに、コラボが必要なテーマがあるが、その連携をどう図るのか。</p> <p>7つの基本目標を横断的に連携・調整する施策（目標）を追加してはどうか。</p>	<p>「観光立市」や「スポーツ立市」のように、施策横断的な取組をリーディングプロジェクトとして推進するほか、各施策の推進にあたっては、これまでも関連施策との連携・調整を図りながら進めていることから、改めて横断的な施策は設定しておりませんが、7つの基本目標を効果的に達成できるよう、更なる連携を図っていきたいと考えております。</p>
5	<p>佐野市のまちづくりのシンクタンクとしての「佐野市まちづくり研究所」を創設してみてもどうか。</p>	<p>ご提案の「まちづくり研究所」のようなまちづくりのシンクタンクは、有効な手段の一つと考えますので、今後検討していきたいと考えております。</p>
6	<p>【施策 市民と協働した地域づくりの推進】</p> <p>・総合計画基本構想（案）基本目標7には、「自治基本条例」「市民活動推進条例」の言葉があるが、前期計画に記載が無いことについて</p> <p>市民と協働した地域づくりの推進の項目「自治基本条例」を制定しての文言を追加してください。</p>	<p>基本構想において、自治基本条例と市民活動推進条例に基づく基本目標を掲げ、前期基本計画では、基本構想に掲げた基本目標を達成するための具体的な施策や根幹となる基本方針をお示ししております。</p> <p>ご指摘のことにつきましては、役割分担において記載するとともに、市民、団体、事業者等との真の協働によりまちづくりが図られるよう、取り組んでいきたいと考えております。</p>
7	<p>【施策 中山間地域の活性化】</p> <p>生活し続けることができる中山間地域のために、佐野市市有施設適正配置計画（案）にもありますが、施設の統合などで診療所が地域からなくならないようにしてほしい。</p> <p>また、バスの運行について、通学時間を考慮して運行してほしい。</p>	<p>診療所を始めとする地域医療が担うべき役割については、団塊の世代が後期高齢者医療制度へ移行する2025年問題もあり、在宅医療や地域包括ケアなどへの取組も期待されているところで、より重要となってきております。</p> <p>施設の適正配置の推進に当たっては、その地区の活力につながる施設配置を行</p>

		<p>うため、地区との懇談会を開催し、利便性の高い施設のあり方などについて、市の考えやアイデアを示しながら意見交換を行い、合意形成を図った上で施設配置を行っていきたいと考えております。</p> <p>また、市営バスの朝夕のダイヤにつきましては、通勤や通学利用のため、できる限り鉄道との接続を考慮して設定しております。今後も鉄道のダイヤや利用状況等を調査しながら、できる限り利用しやすいダイヤ設定に努めていきたいと考えております。</p>
8	<p>【施策 特色ある教育と心の教育の推進】</p> <p>「生きる力」を使うならば「社会の中で」生きる力だけでなく、「自然の中で」生きる力も目標に入れてほしい。</p>	<p>学力、体力、豊かな心といった「生きる力」につきましては、ご指摘のとおり、社会生活の中に加え、自然との触れ合いの中でも育成されるものであると考えております。</p> <p>各学校では、佐野市全体あるいはそれぞれの地域にある歴史や文化、人、そして豊かな自然などを活かした特色ある教育活動を通して、「生きる力」の育成に努めているところですが、更なる充実を図るよう啓発を行っていきたいと考えております。「生きる力」の育成の意味には、「社会や自然の中で」という事が含まれておりますことをご理解いただきたいと思います。</p>
9	<p>【基本目標 4】</p> <p>未来の佐野市を創造していく子どもたちのために、食育を取り入れてほしい。</p> <p>健全な食事をとること、食事を作る大切さを理解してもらい、健康に成長してほしい。</p>	<p>食育の取組については、成長期に必要な栄養バランスのとれた給食を提供することはもちろんですが、学校教育全体を通して、食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣が身に付くように、家庭とも連携を図りながら、食育に取り組んでいます。</p> <p>具体的な文言は記載しておりませんが、「生きる力」の育成の中にしっかりと位置付け、食育についても取り組んでいきたいと考えております。</p>

10	<p>これからの中山間地域を、限られた人だけで守っていくことはとても難しいと感じていますので、中山間地域が社会とどう関わっていったら良いか、自立した地域づくりのための行政の支援をお願いします。</p>	<p>中山間地域が持つ特色を最大限活用しながら、様々な制度を活用した地域おこしやむらづくり団体への支援のほか、農業、林業の経営合理化や規模の拡大を後押しし、地域が持続していけるような取組を推進していきたいと考えております。</p>
11	<p>文章中、文言整理が必要な部分が見受けられます。</p>	<p>製本作業の過程において、全体的な文言整理を行う予定でおります。</p>
12	<p>成果指標について、目標値が低いと思うものがあります。 達成できるかどうかは別に、意気込みとしては高い目標を掲げることが必要と思います。</p>	<p>ご指摘のとおり高い目標を掲げて施策を推進することも必要なことでありますが、目標値については、計画期間内において実現可能性のある値を設定しておりますので、ご理解いただきたいと思います。 なお、再度全体的な確認を行い、修正すべきものについては、修正したいと考えております。</p>
13	<p>役割分担について、市民として当然の内容が記載されているものがあるため、再考した方が良くと思います。</p>	<p>ご指摘の内容を含め、全体的な調整をさせていただきたいと考えております。</p>